



2016. 12. 28発行 No.136

## 社会福祉法人 すずかけ福祉会

### すずかけ共同作業所

愛知県小牧市南外山間島15-1 Tel.0568-71-3644 fax.0568-71-3649

### さん

愛知県小牧市小針2-356-2 Tel.・fax0568-75-3991

### すずかけホームそよ風・すずかけホーム虹の家

愛知県小牧市南外山間81 Tel.・fax0568-76-8151

### すずかけホーム青空・すずかけホーム太陽

愛知県小牧市小針2丁目356-1 Tel.・fax0568-75-2888

### ヘルパーステーションとなり

愛知県小牧市小針2丁目356-1 Tel.・fax0568-90-0111

↓ fax 0568-90-0111

# ヘルパーステーション「むすび」オープン！

小針にあるグループホームの1階に新しくすずかけ福祉会のヘルパーステーションが開所しました！

名前は「となり」と言います。正式名称は「ヘルパーステーションとなり」になります。「いつもあなたの隣に」という意味がこめてあります。どうぞよろしくお願います。

以前保護者向けにおこなったアンケートで、「すずかけがヘルパーステーションを持っていたら使いたい」と答えた方は19名でした。その中には、「すずかけにみてほしい」「使ってみたいけど制度がよくわからない」という意見も多くありました。そこから、親の思いや仲間たちの豊かな生活を保障するということを方針に、ヘルパーステーションのプロジェクト会議を重ねながら準備をしてきました。そして時間はかかりましたが、今年の秋に開所することができました。

振り返ってみると、まずはどうやってヘルパーステーションが立ち上げられるのだろうか？そこからの出発でした。プロ

ジェクトのメンバーで制度についての勉強、他施設からの情報収集、介護福祉士の資格取得、収支見込や人員配置など具体的なシミュレーションもしてきました。そして管理者、サービス提供責任者、ヘルパーと、人事も決まりました。

今のところ、実施するサービスは居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、移動支援です。

まだまだ動き始めたばかりですが、地域に暮らす障害がある人々の生活が広がっていきけるように支援をしていきたいと思っています。

これからもよろしく願います。

(となりサービス提供責任者 森下)



一緒に外出、うれしいな

# 各のボーナス！でたよ！！

「ボーナスで工場見学に行きたいな…」

さらに卵やコーヒーの仕事を頑張っている森田さんの発言です。森田さんは少しだけ動く指で電動車いすを操作し、一生懸命仕事に携わっています。

先日「冬のボーナスを基本給の2か月分下さい」と要求をかけた、仲間全員で施設長交渉を行いました。今回は特に最近頑張っている、さらに障害の重い仲間たちにスポットをあててアピールし、皆で認め合う場にしました。施設長から「皆さんが頑張っていることがよく分かりました。要求通り支給します」との回答を得る事が出来、拍手！嬉しい結果となりました。

仲間のうたカレンダー営業したよ

今年も仲間のうたカレンダーを仲間達で販売しました。岩本さん稲垣さんが絵画コンクールで入選し、壁掛けカレンダー裏面に小さく紹介されています。行きつけの喫茶店にチラシを貼らせてもらったり、ヘルパーさんをお願いしたりと、工夫して営業を頑張りました。売上収益を仲間全員で分配し、一人1000円のおまけができました。やったね！

～すずかけ～

今年も名フィルコンサートへ行ったよ

昨年に引き続き今年も名フィルコンサートに参加しました。今年はすずかけ1階の仲間たちを中心に有名なクラシック曲からマーチ、そして後半は「ドレミのうた」など誰もが知っている曲が演奏され、どの仲間もとても楽しそうでした。なかなか本物の文化に触れる機会の少ない障害を持った仲間たち。いい経験になりました。その後デニスでランチ！いつも一日中忙しい作業に従事している仲間達もいい気分転換になったようです。

クリスマスグッズを作りました…

春は桜、秋は落ち葉や木の実を使って飾りを作ったり、季節の創作を行っています。先日ほっとグループは段ボールを丸めてサントアさんを。おひさまグループは色セロファンとキラキラ折り紙を使ってステンドグラス風壁掛けを作りました。個性豊かな作品は玄関に飾ってあります。光に当たって素敵ですよ。22日にはささやかなクリスマス会をしました。職員があわてんぼうサンタクロースの寸劇を披露！おもしろかったかな？



～さらん～

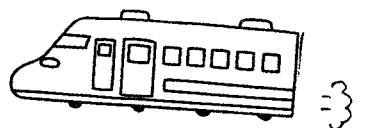
新幹線を見に行きたよ。緊張したけど…

お誕生日企画で「新幹線を見に行きたい」と要求を出した青木さん。職員と一緒に名古屋駅へ出かけました。実際に目の当たりにすると緊張し通しの青木さんでも新しい経験が自信になっていくといいな。水族館に行った人、大好きなディズニーの映画を見た人、大きなお風呂に行った人、様々な小さな「夢」を楽しんでいます！

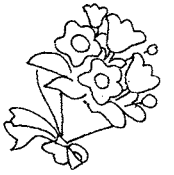
～ホーム虹の家～

みんなで楽の湯にいきました。

虹の家は夜の取り組みをしました。スーパ―銭湯楽の湯へ！男6人でジャグジーや五右衛門風呂、サウナにも入ったよ。その後はレストランで夕食タイム！みんな好きな御馳走とデザートを選んで大満足でした。飛び跳ねながら喜びを表現していた人、家に帰ってから「うどん食べた」と報告した人など様々でした。また行きたいね…



# 悦子さんが



## 遺したものの

5月16日、ひとりの仲間が亡くなりました。西川悦子さん53才。1979年、小牧市で初めて障害者施設として誕生した「すずかけ共同作業所」に通う仲間のひとりでした。

当時、小牧市には学校を卒業した「障害者」が通う場がなく、障害児・者を持つ親の会である「小牧市手をつなぐ親の会」(現手をつなぐ育成会)が設立母体となって開設した小さなプレハブ造りの無認可作業所が「すずかけ共同作業所」でした。

作業所には、市内の中学校特殊学級(現特別支援学級)を卒業した悦子さんとトモコさん、そして養護学校(現特別支援学校)中等部を卒業したノブユキさんの3人を迎え、職員は私ひとりでした。

「障害」があってもひとりの人間として働きたいという願いを実現するために、関係者が力を合わせて働く場をつくる「作業所づくり運動」が全国で野火のように広がっていました。

資金も補助金も無くスタートした小さな

作業所でしたが、悦子さんたちは理解のある会社から提供された赤・黄・緑のカラフルな紙コップを10個づつ包装する作業に毎日楽しく取り組みました。小牧市初の「障害者作業所」の幕開けでした。

・・・

当時、10代だった悦子さんは、ダウン症特有の陽気さでピンクレディーのものまねをして周囲を楽しませてくれました。忘れられない思い出となっています。

こうして出発した小さな作業所は、悦子さんたちの「まいにちかよってなかまたちとたのしくはたらきたい」という切実な思いを実現し、その火を消してはならないという仲間・家族・職員・関係者の熱い思いを繋いで今日に至っています。

そこには何よりも、障害や能力の有無で人の価値を計るのではなく、その人なりの生きざまをかけがえのないものとする人権思想が脈々と流れています。

すずかけと共に生きた悦子さんの晩年は、ご両親からの自立、夜はグループホームの「青空」で暮らし、日中は「すずかけ共同作業所」で働く生活でしたが、昨年体調を崩し、入院・手術・自宅療養を経て亡くなりました。告別式には、仲間・職員全

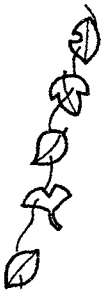
員が参列し、悦子さんが好きだった「たんぼぼ」をみんなで歌いお別れしました。悦子さんは53年の生涯をしっかりと生き抜いたのです。

・・・

その喪失感の中、神奈川県相模原市の障害者施設で悲惨な殺傷事件が起こりました。「障害者は不幸をつくることしかできない」「障害者がいなくなればいい」と19人が刺殺されて27人が重軽傷を負いました。加害者が施設で働いていた元職員であることに驚愕しました。日々向かい合う人と人との関係の中で彼はいったい何を考えていたのでしょうか。

悦子さんは次第に体力が落ちていく中、それでもまだ元氣になってすずかけに通いたいという思いを強く持っていました。亡くなる直前に訪れた職員に「すずかけにくからね」と弱い声で伝えたと言いました。すずかけは、悦子さんにとってかけがえのないものだったのです。「悦子さんがいたからすずかけができた」そんな気がするのです。悦子さんは、わたしたちに大切なものを遺してくれました。

(理事長 河内士郎)



◇すずかけ福祉会あれこれ◇

## 秋の大バザー大盛況！

11月20日、清水屋小牧店さまにて毎年恒例の秋の大バザーを開催いたしました。開店時間からお客様の足は途絶えることなく、大盛況のうちに終える事が出来ました。お越し下さった方々にはご満足いただけた様子で「毎年楽しみにしてるのよ」等の嬉しい言葉をかけていただきました。ありがとうございます。また数々のバザー物品をご提供いただきました。本当にありがとうございます。バザー収益は今後の施設づくり等に大切につかわせていただきます。

## 物資販売にご協力ありがとうございます

今年も冬のカレンダー販売、食品などの物資販売にご協力ありがとうございました。次はバレンタインデーのチョコプレートです。今後ともよろしく願います。♥

## ご寄附のお礼

「小牧ライオンズクラブ様」「中部善意銀行様」「小牧市善意銀行さま」を通じてクリスマスのお菓子等のご寄附をいただきました。関係者一同大変喜んでおります。ありがとうございました。

## すずかけがきれいに変身しました！

すずかけが南外山に建設されて25年が経とうとしています。色も淡くなりあちこちほころびの出てきてしまった建物を、この夏大改修しました！そして：あざやかなピンク色になりました。そして軒下はやっぱり黄色に。皆さんからは「明るくなった」「気持ちいいね」と評判も上々ですよ！

## 第40回国会請願署名にご協力を：

いつも障害者運動にご支援ご尽力いただき、ありがとうございます。今年も例年同様国会請願署名に取り組んでまいります。

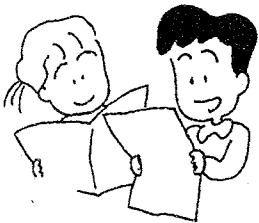
法整備は進んでも、実際は障害を持った仲間達や家族の暮らしは増々苦しくなるばかりです。また施設の運営は不安定さを極めています。職員の給与は多職種と比較すると非常に低いため若い人材が確保できず現場は深刻な人手不足です。皆様の声を国に届け制度の抜本的改善を求めます。

署名にご協力お願いいたします。

署名用紙を一枚同封させていただきます。

お問い合わせは：

(0568-71-3644)



## 編集後記

今年一年を振り返る時に、やはり相模原事件をぬかすわけにはいきません。

ある新聞記事でダウン症の娘と40年生きてきた大学教授の方が「この子がいなくなれば：と妻も私も思ったことがある」でも命についてこんなに考えてこられたのはこの子のおかげ「そうやって長年葛藤して生きてきた親子の歩み(命)は、容疑者のような第三者や国家によって決着をつけられるものではない」と考えを述べられていました。しめつけられる思いで何度も読みました。すずかけでも職員会議で思いを出し合いました。今でも様々な記事や報道がされています。自分だったら：自分の子供だったら：自分の弱さや醜さを見つめる事になって苦しいです。でも職員として仲間や家族の近くで経験させてもらってきたことを素直に信じ行動したい：と思います。

すずかけの樹の発行が遅れて申し訳ありません。日頃から沢山のご支援をいただき本当にありがとうございます。2017年もよろしくお願い致します。(職員H)

